



防災・減災対策

長田 忠広

問（これまで提案してきた）発災直後の初期期を乗り切るための避難所運営の組織づくりの進捗状況を伺う。

総務部長（先進的に取り組んでいる）岩沼中学校避難所運営協議会の活動内容を市のほうで紹介しながら、町内会等に働きかけをしてきたところです。その中で、今回岩沼南小学校と町内会が連携し、南小防災地域連携会議を組織し、今回の総合防災訓練後に活動したという報告をいただいています。今後このような活動が広がるように、市としても努力していきたいと考えます。

避難所の環境整備しては

問 指定避難所の環境整備として、公衆無線LAN（Wi-Fi）を整備してはどうか伺う。

防災課長 Wi-Fiは、災害時における有効な通信手段ですので、指定避難所への整備を内部で検討しています。

問 トイレの洋式化を進めてはどうか伺う。

防災課長 指定避難所のトイレは現在、設置総数のうち、約6割が洋式トイレになっています。和式便器は、高齢者の方や障害をお持ちの方には、大変負担が大きいというところもありますので、優先順位をつけながら洋式化を進める必要があると考えます。

問（これまで提案してきた）災害時における井戸水等を活用した施策についての進捗状況を伺う。

防災課長 市では、昨年8月に岩沼市災害時協力井戸に関する要綱を定めまして、「広報いわぬま」や「市のホームページ」にお知らせを載せ、（井戸の）登録を呼びかけています。今後、登録時期について調整を進めていきます。

問（これまで提案してきた）浸水対策として土のうを提供する土のうステーション設置についての進捗状況を伺う。

防災課長 土のうステーションですが、先進自治体の柴田町を視察して、参考となる意見をいただけてきました。現在、設置場所の調整を進めています。



防災ラジオ

高橋 光孝

問 津波・土砂災害の危険区域で無償配布した数を伺う。

防災課長 土砂災害警戒区域および津波に係る災害危険区域に合わせ360台を配布しています。

問 有償で購入された数を伺う。

防災課長 平成30年8月31日現在、有償で購入いただいたのは、2157台です。

問 公共施設など設置している所は何力所で、主にどのような施設に設置しているか伺う。

防災課長 指定避難所となる公共施設や公会堂、保健センター、市内小中学校、国の出張所、警察署、駐在所、保育所、幼稚園など約80カ所に設置しています。

問 企業や店舗など市民の多くの人が集うような所、もしくはそこから情報が発信できそうな所に、一定の基準を設けて無償配布し、設置してはどうか。

防災課長 28年度に配布を開始し、既に希望される多くの事業所に有償で購入いただいていることもあり、これまで同様、企業の皆さまには有償での購入に理解をい

ただきたいと考えています。

問 緊急割り込み放送される内容では、避難勧告、避難指示等の情報、土砂災害警戒情報、その他周知が必要な緊急情報とあるが、避難準備、高齢者等避難開始は放送されないのか伺う。

防災課長 高齢者準備開始は、これまで放送はしていません。

高齢世帯にも無償配布を

問 高齢者のみの世帯にも無償配布してはどうか伺う。

市長 時間帯で子どもたちを対象にしなければならぬ情報の伝達方法と、高齢者、そして今回の北海道の土砂災害と同じように、夜中の事態もあるわけですから、その時々でしっかり情報を伝達するような方法をこれからも検討しなければなりません。その中に、防災ラジオも含めていろいろ研究したいと思います。

◎その他の一般質問
・消防広域化